

山岳救助隊ニュース

令和4年第7号

発行:令和4年9月6日
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

山岳遭難発生状況 50件55人(前年同期比+2件、+4人)
死亡9人、負傷者26人 ※令和4年8月末現在

秋は山岳遭難が多発傾向!

○埼玉はこれから山岳遭難が多くなる

県内の山岳遭難は、9月から11月
にかけ多くなる傾向にあり、昨年は、
この3ヶ月間だけで年間の約35%の
山岳遭難が発生しています。

アルプス等の高山は冬用装備が必要
になってくる季節ですが、埼玉は気象
環境的にまだまだ登りやすいからかも
しれません。

○油断は禁物

登山中は暑くても、山頂では気温が低かったり風が吹いていたり、想像以上の
寒さにさらされることがあります。

「埼玉の山」だから大丈夫だろうと思わず、必ず、防寒着を準備してください。
また、日没が早くなる季節でもありますので、ヘッドライトも忘れずに携帯し
て下さい。



秋山登山を楽しむための7か条の山岳遭難防止

- 1 日が短くなるため、早めの入山下山で計画を立てる
- 2 落ち葉で登山道が判別しにくいので、道迷いに気を付ける。
- 3 落ち葉によるスリップ、落ち葉下の凍結箇所注意到意。
- 4 雪や気温低下等、天候の変化に注意
- 5 熊(冬眠前)や蜂(繁殖期)等の野生動物に注意。
- 6 地図、ヘッドライト、防寒着、アイゼン
等の装備を万全に。
- 7 登山計画を家族や親しい友人等に伝え、登山
届を提出する。



山岳遭難多発エリア！

右表は、令和4年8月末現在で山岳遭難の多い山域です。

入山までのアクセスが良く、日帰り登山ができる場所が多いのが特徴です。

特に「棒ノ嶺」と「両神山」は、毎年、山岳遭難が多く発生していますので、事前に下調べをして安全な登山を心掛けましょう。

県警ホームページに「棒ノ嶺」と「両神山」のハザードマップを掲載していますので、是非参考にしてください。

| No. | 山域名 | 件数 |
|-----|--------------|----|
| 1 | 棒ノ嶺（969m） | 7件 |
| 2 | 日和田山（305m） | 3件 |
| 3 | 両神山（1723m） | 2件 |
| | 熊倉山（1426m） | |
| | 小持山（1273m） | |
| | 秩父御岳山（1080m） | |
| | 藤棚山（920m） | |

低山でも気を抜かないようにね！



○山岳遭難情報はコチラ！

情報発信

Twitter（ツイッター）で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



○登山届はコチラ！



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



登山届（電子申請）

登山届の提出は安全登山の第一歩です。
自分の技量や装備に見合った登山計画を立て、
必ず、家族や身近な人に行き先等を伝えておきましょう。

